

「望ましい教育環境の整備」に関する利別小学校区保護者説明会（平成30年12月10日）
会 議 録

（この文章は、読みやすいよう、重複した言葉づかい、明らかな言い直しなどを整理し作成しています。）

教育委員会	<p>本日の説明概要については、10月下旬新聞報道で皆さんも知るところとなった。PTA役員からは、事前の情報提供もなく初めて報道で知ることとなったことについてお叱りをうけた。</p> <p>教育委員会としては、まずは地域の代表である町議会議員に理解を得てから、保護者に説明したいと考えたが、丁寧さを欠いたと考えている。本日改めて説明させていただく。</p>
教育委員会	<p>～資料に基づき説明～</p>
参加者	<p>学校は地域にあり、子どもや地域のものである。学校は子どもにとって家庭の次に大事なので、情報提供は慎重にしてほしかった。資料1にある現行指針の小学校1学級12～24人の適正規模は良い数字と思っていたが、今回30～35人に増えている。今回増やした理由が知りたい。</p>
教育委員会	<p>平成18年の策定経過の詳細は把握していない部分もあるが、クラス替えできる学級編制が望ましいとした前提で、効果的な学習は12～24人となっており、当時は4～6人程度の構成によるグループ学習で教育効果を高めることが出来ると考えたものと理解している。</p> <p>現在3校すべて合わせてもクラス替えできる人数にならない。外国では学習の場としての学校であるが、日本の学校は、学習や生徒指導、規範意識等も学校で指導を行っている。本来は各学校で2学級以上のクラス替えができる規模が望ましいが、池田町では困難であるため、学習の部分と生徒指導等の部分を考えて場合、30～35人規模が望ましいと考えた。</p>
参加者	<p>4頁の枠にある小川教授論文について、望ましい学級規模を30～35人程度と方針案にあるが、それがベストという論文ではないと思う。文科省が引き合いに出すOECDの加盟国の1クラスの平均は21人。しかも学力向上等に教育効果が期待できるのは10数人の小規模な集団であるとしている。</p> <p>今どきの子ども特有の生徒指導上の問題がからんでいる。今までの人数では目が行き届かない、勉強以前に学級集団として成立させることが困難な状況がある。そこで国は35人に引き下げている。法改正により都道府県裁量で少人数学級対応が可能となっている。少人数学級の更なる縮小への推進によるきめ細やかで質の高い学びである。小さな集団を集めて30～35人にすることが望ましいことではない。標準学級となったことで30人よりもっと小さい学級の都道府県もある。学年の途中から規模が大きくなることで悪影響がある。読み誤りがあると思う。</p>
教育委員会	<p>小川論文については当時小学校1年生を40人から35人学級に改善するときの考え方で述べていることは承知している。北海道でも単独で小学校2</p>

年生と中学校1年生については35人学級としている。これは都道府県の裁量で学級編制の基準を変えることができるため。実際、利別小の2・3年生は、学級編制基準上は複式学級だが市町村裁量で町費の教員を入れて単式学級としている。

10人程度の小規模学級と複式学級を見た場合、これからの子どもの成長にとって、こうした学級規模が適当なのかを考えた。小学校の学習指導要領が平成32年度から本格実施される。基本的に10年ごとの改正となるが、これからの子どもたちは平成32年度実施の学習指導要領に基づいて10年間は目指すところを求めて学習していく。その中で小規模学級では、色々と課題が出てくるであろうと考えた。どういった学級規模が適当かと考えたときに、一番望ましいのは35人にする事でクラス替えできる学年が望ましい。池田はクラス替えできる人数とはならないため、少人数の子どもたちにとっての懸念材料を考えると、30～35人がこれからの社会で求められる力を身に付けるためには適当と考える。

秋田県とか山形県などは県単独で35人や30人学級を実施しているが、北海道はそれだけの財源が無い。正規の教員を雇うと3億円を要する。県単独での財源を持つのは北海道としては厳しいと思う。まして池田町は厳しい。

参加者 統合した場合の決算ベースについて、差額について具体的にどのように子どもに還ってくるのか。

教育委員会 財源が節減となれば、町単独で人を雇うとか、施設設備の充実に使うとか、そうした予算の確保を目指していきたい。

参加者 統合した際に配慮していくことの中で、支援学級在籍児童について、担任が継続的に務められるよう人事上の配慮を行うとあるが、統合の場合、担任の数が増えるかどうか。今の制度でいうとたぶん増えないと思う。町予算で低学年への支援員の配置が池田町は不足していると思う。統合によって人員配置を考えてくれているかと不安に思う文章表現である。子どもたちに不安材料がないように書くことは当然だが、人手が足りないところを踏まえてほしい。

教育委員会 3校統合となっても学年学級は6学級のため、定数の増員はなく、現在の3校合わせた教員の数と比べると減る。特別支援は障害種別によっては子どもの数が増えることによる定数増の可能性はある。過去の事例で、高島中が統合したときに、高島中在籍の教員2人が、池田中に異動した事例を踏まえて記載している。

現在、町臨時教員5名と学習支援員を任用しているが、当然子どもたちの学習や生活環境の変化に伴って、不安が生じないように町単費で対応できるよう教育委員会としては、予算を確保していきたいと考えている。

参加者 次回の説明会に正しい教職員数の試算を示してもらいたい。文科省の調査では、2校が1校になった場合、教員は30.5人から22人になった。

教育委員会 3校合わせても学年学級数が増えることはないため、今の学年学級の教員数よりは減る。支援学級については、統合した場合に子どもたちの人数によっては教員が増える可能性もある。次回までに今のベースで教職員の定数を、

<p>参 加 者</p>	<p>現状と統合を想定した場合の試算を示す。</p> <p>今回は早くから資料をウェブで閲覧することができてよかった。利別小は管内でもまれに見る評判の良い学校（手厚くてきめ細かな指導が可能、協力的で親和的な保護者、縦割り活動、多様な体験活動、町単独で複式を解消等）で、小規模校の弱みと言われる部分を補っている。利別小を閉める以外の選択肢はないのか。他の選択肢を探ったのか。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>私も利別小について、同様の印象を持っている。先ほど申し上げたが、平成32年度から学習指導要領が本格実施となり、それに基づいた指導が10年間続くが、どうしても小規模学級や複式学級で、これからの社会に求められる力を身に付けることに難しい部分があると考えている。新しい学習指導要領のポイントは、主体的・対話的で深い学びを通じて、これからの社会に生きる力を身に付けるということが基本となっており、これは、子どもたちが自ら課題を発見して、主体的に学び合う活動や子ども同士が対話し、思考を広げて深めていくことを通じて、意欲や知的好奇心を引き出して、人生や社会の在り方と結びつけた深い学びにつなげていくことである。</p> <p>このためには、10人程度の小規模学級なり、複式学級では難しい。今の利別小を残すことを考えた場合、学習指導要領の目指す内容に取り組み際、学校間の交流で触れ合う時間を確保することも可能だが、限定的な時間しかない。やはり教育行政として、責任を持って子どもたちの教育環境を整えていくためには、一定規模の学級を作って、社会で求められる力を身に着けていくことが適当だろうと考える。</p> <p>保護者や地域から意見の相違があると思うが、教育委員会としては、そういう考えのもとで、これからの子どもたちのために責任をもって教育環境を整えていこうとする考え方を示した。</p>
<p>参 加 者</p>	<p>今、私たちはどの段階にいるのか。統合をするものとしての話し合いの過程と見えるが、色々協議して考え方を聞いた上で、柔軟に対応できる状況にあるのか。スケジュールを見ると時間もないように見える。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>スケジュールは教育委員会としての希望である。こういう考えのもと保護者や地域の理解を得て進めていきたい。今後アンケートや意見交換において修正すべき点等、意見に対応できない部分がある場合は、内容修正もあると考える。スケジュール前提で進めると言うわけではない。</p>
<p>参 加 者</p>	<p>次に複式の可能性が発生するのが36年度になるが、その時に入学する予定の子どもを持つ親が説明会に来ることが難しい。情報提供や議事録など話し合いの途中経過を手厚くして発信してほしい。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>36年度は1年生を含むので複式は出現しないが、複数名転出した場合どの学年も複式となる可能性がある。現状では32年度の2学年と3学年が数名の転出があれば複式になる可能性がある。</p> <p>情報提供については十分留意していきたい。今後アンケートについて学校保護者はもちろん、未就学児の保護者へも実施することとしている。その中の意見にも教育委員会としての考えを示していきたい。今回の提案は決定事項でないが、理解してもらいたいと考えているので、保護者や地域の意見</p>

参 加 者	<p>を聞きながら丁寧に説明していきたい。</p> <p>1頁の下から5行目、「もっとも児童数の減少」は「もっとも児童数の減少率」ではないか。減少率が最も大きいのは利別小となっているが、池田小は57%、利別小は59%であり、2%の差では大きいとはならないのではないかと。更に減少率に着目すると、資料2を見ると今後数年で池田小は22%減、利別小は12%減と池田小の方が減少率でも高い。多くの人は利別小の児童数は減らないと思っている。公区長から利別地区に転入する人が池田町内で一番多いと聞いている。利別小へ通わせたいと家を建てた人もいると思う。</p> <p>人口動態等の背景までを分析していかなければ統合した後が大変である。色々な角度から考えていかなければ、池田町の教育史に汚点を残すこととなる。帯広市を除く十勝管内67校中、利別小より児童数が少ない小学校は36校もあり、全体の54%程度である。</p>
教育委員会	<p>数字の分析・把握については、次回までに精査していきたい。利別小は管内的には小さくはないが、教育委員会としては、これからの10年間で目指す教育を進めるには10人程度の学級規模では、難しいという考えのもとで提案している。</p>
参 加 者	<p>資料3について、デメリットだけ打ち出しているが、小規模校のメリットは、「これからの社会で求められる力」に関連しないのか。大規模校のメリット・デメリット、小規模校のメリット、デメリットの4つの軸を示していかなければならないのではないかと。小規模校のデメリットのみを示すと不安しかなくなる。</p> <p>3頁に「学校運営上の課題が児童に与える影響」を記載しているが、利別小の児童を浮かべて示しているのか。利別小の子どもは色々な人間関係の中で社会性やコミュニケーション能力、意欲や成長などを身に付けている。子どもは帰ってきて学校の話をするとき、同級生や担任以外の話もよくしている。小規模校がデメリットではない。一概には言えないということではないか。利別小の子どもたちの実態から考えてほしい。</p>
教育委員会	<p>利別小の教育活動を否定してはいない。子どもたちの教育環境を整えることを考えたときに、児童数はもう少し多い方が良いと考えている。小規模校では無理というわけではなく、難しいと考えている。この規模では、新しい学習指導要領が求めている力を子どもたちに身に付けさせることが難しいと考えているため、今回の提案となっている。</p>
参 加 者	<p>統合するだけでなく、今の利別小の良さを残す方法も検討してほしい。幕別町では途別小学校を残すために、町内であれば区域外就学を可能にしている。行政のバックアップを受けながら頑張っている地域もあり、残す市町村もある。</p> <p>資料3を公平な形で書いて欲しい。複式はダメなのかと思ってしまう。学力世界一のフィンランドでは、複式で成果を上げている。また、統合すると9年間クラス替え無しで行くことになる。現在は利別小で学んで、中学校で新たに出会って切磋琢磨していく段階的になっている。9年間一緒であることで、人間関係に問題が起きると引きずることも考えられる。</p>

<p>教育委員会</p>	<p>教育で町を変えることができるのではないかと思っている。更に人が入ってきてもらえる環境にしてはどうか。住民が増える工夫が見えない。町の在り方、盛り上げ方、人を増やす方法を、町行政全体で考えてほしい。</p> <p>今の意見について、検討させてもらいたい。私見になるが、教育の活性化はマチの活性化につながると考えている。教育委員会単独では難しいところがあるが、例えば、子どもたちの学力が全道で一番となれば転入の可能性も出ると思う。将来的には、義務教育学校で小・中学生と一緒に学び、中学校の先生が小学校に乗り入れ指導することも考えている。</p>
<p>参加者</p>	<p>文科省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」では、学校を存続させる選択肢があって良いと記載されている。学校を地域のコミュニティの存続・発展の中核的な施設と位置付け、地域を挙げてその充実を図ることを希望する場合である。</p> <p>わだかまりや不信感があっては重大な選択ができない。有識者会議等、多様な考えを出し合うような場を設けてはどうか。方針案の利別小部分を取り下げてほしい。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>繰り返しとなるが、池田の子どもたちのこれから10年を見据え、誰が責任を持って教育環境を整えていくのかと考えたとき、教育委員会として、今の状況でなく統合して多い児童の中で切磋琢磨して育った方が良いのではないかと提案した。</p> <p>文科省では「適正規模」とあるが、その文言は、行政本位となってしまうため、敢えて使わなかった。何が適正かはそれぞれの考えがあり、「望ましい教育環境」をどうしたら良いのかとして提案した。</p> <p>今後、本日のご意見や保護者アンケートのご意見も踏まえ、教育委員会の考えを整理して説明してまいりたい。</p> <p>～終了～</p>